

やさいをそだてよう ～やさいの収穫をしよう～

目 標

- ・ 野菜の収穫を楽しみ、植物の変化や成長に興味をもつ。
- ・ 植物の様子に合わせて世話の仕方を工夫する。
- ・ 植物の変化や成長の様子から生命の存在に気付く。

育てたい力

- 野菜の栽培を通して、作物の変化や成長に喜びを感じ、栽培を続ける態度。
- さとらんどでの収穫体験を通して、植物の世話をする苦労や収穫の喜びを感じる心。

主な学習活動（やさいをそだてよう：9時間、さとらんど体験：3時間）

育てる野菜を 決めよう (5月)

- ・ 自分の知っている野菜について話し合い、ミニトマトを各自の鉢に植えた。また、ジャガイモとトウモロコシを教材園に植えた。
- ・ 野菜の植え方や育て方を図鑑で調べた。



野菜の世話を しよう (6～9月)

- ・ 教材園の土を耕し、植える準備を行った。
- ・ 支柱を立てて、成長に合わせての追肥や雑草取りを行った。



野菜を収穫 しよう (6～9月)

- ・ さとらんどでは、枝豆と落花生の収穫体験を行った。一つの苗にびっしりと実がついていることや、落花生は花が落ちてから実が生まれるから落花生という名前が付いていることを知り、驚いていた。出来方や収穫の仕方を知るとともに、収穫できる喜びに浸った。



取組を終えて

子どもの声（感想）

子どもからは、「枝豆はこんなにびっしり豆がついているんだね。」「落花生が土の下にできるなんて知らなかったよ。」「どうやって収穫するか、家族にも教えたいな。」などの感想が寄せられた。

取組の成果

当初は、教材園に植えたトウモロコシを収穫する予定であった。台風等の影響があり、枝豆と落花生に変更になったが、子どもにとって身近な野菜について、どうできているかを知り、収穫をする喜びを感じることができたことは貴重な体験となった。給食で枝豆を食べた際にも、「大事に育ててできた枝豆だから美味しいね。」と、収穫体験を生活に結び付ける姿が見られた。

体験先、関係機関

サッポロさとらんど（札幌市）